

化学療法計画書

ID							指示医師:		
氏名							指導医師:		
生年月日							投与開始予定日: 年 月 日		
実施部署				発行日			投与終了日: 年 月 日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50	Ccr (mL/min)	80.0		
病名		乳癌							
治療法		【CBDDCA3週毎】キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法							
抗癌剤・商品名		1 キイトルーダ		2 パクリタキセル		3 カルボプラチン			
規格		100mg/4mL		30mg/5mL 100mg/16.7mL		50mg/5mL 150mg/15mL 450mg/45mL			
一般名		ペムブロリズマブ		パクリタキセル		カルボプラチン			
一日投与量(規定)		200mg/body		90mg/m ²		AUC*5			
患者情報から算出した 一日投与量		200 mg		120.09 mg		525 mg			
実際の投与量		200 mg		120 mg		525 mg			
				79.9 mg/m ²		AUC* 5			
投与日		day1		day1,8,15		day1			
1クール期間				21日間					
予定クール数				最大4コースまで					
検査スケジュール				原則的に投与日にICI施行前セット 検査データに応じて随時に検査実施					
適応基準		ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術前薬物療法							
推奨 経口剤		○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4: 8mg/日 アプレピタント: day1(抗癌剤投与前) 125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。 ただし、デカドロン投与量を半減すること。							
禁忌		1.本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤、他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 2.重篤な骨髄抑制のある患者 3.感染症を合併している患者 4.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 5.次の薬剤を投与中の患者:ジスルフィラム、シアナミド、プロカルバジン塩酸塩							
中止基準		投与前の好中球数: 1000/mm3未満、血小板数: 50,000/mm3未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)							
副作用		●キイトルーダ 重大 1.間質性肺炎疾患 2.大腸炎、小腸炎、重度の下痢 3.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑 4.類天疱瘡 5.神経障害 6.劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病 11.腎障害 12.膵炎 13.筋炎、横紋筋融解症 14.重症筋無力症 15.心筋炎 16.脳炎、髄膜炎 17.重篤な血液障害 18.重度の胃炎 19.ぶどう膜炎 20.血球貪食症候群 21.結核 22.Infusion reaction その他 (10%以上)好中球減少、貧血、血小板減少、悪心、下痢、嘔吐、疲労、無力症、食欲減退、そう痒症、発疹、脱毛症 (1~10%未満)白血球減少、リンパ球減少、発熱性好中球減少症、血中TSH増加、眼乾燥、流涙増加、口内炎、便秘、 口内乾燥、腹痛、消化不良、上腹部痛、胃食道逆流性疾患、発熱、粘膜の炎症、倦怠感、末梢性浮腫、 悪寒、インフルエンザ様疾患、肺炎、低マグネシウム血症、低カリウム血症、低ナトリウム血症、リバーゼ増加、 脱水、高血糖、アミラーゼ増加、低リン酸血症、関節痛、筋肉痛、四肢痛、背部痛、筋痙攣、味覚異常、頭痛、 末梢性感覚ニューロパシー、浮動性めまい、錯感覚、不眠症、蛋白尿、血中クレアチニン増加、発声障害、咳嗽、 呼吸困難、鼻出血、手掌・足底発赤知覚不全症候群、斑状丘疹状皮疹、皮膚乾燥、尋常性白斑、紅斑、 ざ瘡様皮膚炎、高血圧、ほてり、体重減少 (1%未満)好酸球増加症、耳鳴、回転性めまい、血中TSH減少、霧視、フォークト・小柳・原田病、口腔内痛、胃炎、腹部膨満、 嚥下障害、口腔内潰瘍形成、鼓腸、疼痛、浮腫、胸痛、尿路感染、結膜炎、上気道感染、口腔カンジダ症、 低カルシウム血症、高トリグリセリド血症、高カリウム血症、高コレステロール血症、血中コレステロール増加、 高尿酸血症、筋力低下、骨痛、関節炎、筋骨格痛、筋骨格硬直、感覚鈍麻、嗜眠、多発ニューロパシー、 口腔咽頭痛、しやつくり、鼻漏、肺塞栓症、労作性呼吸困難、胸水、湿疹、皮膚炎、そう痒性皮疹、爪変色、じん麻疹、 皮膚色素過剰、乾癬、斑状皮疹、皮膚病変、丘疹性皮疹、皮膚色素減少、多汗症、寝汗、光線過敏性反応、丘疹、 毛髪変色、低血圧、潮紅、血中LDH増加、体重増加、血中CK増加、サルコイドーシス ●パクリタキセル 重大 1.ショック、アナフィラキシー 2.白血球減少等の骨髄抑制 3.末梢神経障害、麻痺 4.間質性肺炎、肺線維症 5.急性呼吸窮迫症候群6.心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫 7.難聴、耳鳴 8.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 9.重篤な腸炎 10.腸管閉塞、腸管麻痺 11.肝機能障害、黄疸 12.膵炎 13.急性腎障害14.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC) 16.腫瘍崩壊症候群 17.白質脳症 その他 (20%以上)悪心・嘔吐、脱毛、関節痛、筋肉痛 (5%~20%未満)発疹、低血圧、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、AST上昇、Al-P上昇、LDH上昇、ALT上昇、電解質異常、 BUN上昇、呼吸困難、無力症、腹痛、倦怠感、頭痛、骨痛、背部痛、発熱、潮紅 (5%未満)発赤、不整脈、頻脈、徐脈、期外収縮、高血圧、心悸亢進、心電図異常、心房細動、心室細動、心肥大、狭心症、 消化不良、鼓腸放屁、胃炎、腹部膨満感、直腸疼痛、嚥下障害、歯肉炎、直腸障害、口唇炎、舌苔、歯肉痛、 ビリルビン上昇、クレアチニン上昇、蛋白尿、排尿困難、血尿、尿失禁、尿閉、出血性膀胱炎、そう痒、皮膚疾患、 爪の障害、皮膚潰瘍、尋麻疹、皮膚炎、色素沈着、皮膚乾燥、表皮剥離、皮膚腫脹、爪変色、めまい、不眠、不安、 うつ病、傾倒、思考異常、振戦、失神、激越、神経学的疾患、痙攣、運動失調、健忘症、緊張低下、意識障害、寡動、 言語障害、緊張亢進、精神症状、譫妄、眼振、不随意運動、嘔声、気分変動、味覚倒錯、味覚喪失、視力異常、 眼疾患、結膜炎、耳痛、眼痛、霧視、流涙増加、眼精疲労、飛蚊症、眼乾燥、角膜炎、舌異常感、結膜出血、光視症、 低酸素症、咳増加、喀痰増加、咽頭不快感、浮腫、疼痛、インフルエンザ様症候群、腹部腫脹、さむけ、体重増加、 体重減少、頭痛、腰痛、出血、注射部反応、末梢性浮腫、総蛋白減少、アルブミン減少、骨盤痛、発汗、 吃逆、口渇、不正出血、無月経、注射部痛、酩酊感、高血糖、低血糖、脱水 ●カルボプラチン 重大 1.骨髄抑制 2.ショック、アナフィラキシー 3.間質性肺炎 4.急性腎障害、ファンコニー症候群 5.肝不全、肝機能障害、黄疸 6.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 7.出血性腸炎、偽膜性大腸炎 8.麻痺性イレウス 9.脳梗塞、肺梗塞 10.血栓・塞栓症 11.心筋梗塞、うっ血性心不全 12.溶血性尿毒症症候群 13.急性呼吸窮迫症候群 14.播種性血管内凝固症候群(DIC) 15.急性肺炎 16.難聴 17.白質脳症 18.腫瘍崩壊症候群 19.うっ血乳頭、球後視神経炎、 皮質盲 20.溶血性貧血 その他 (10%以上)悪心・嘔吐、食欲不振、ALT上昇、脱毛、全身倦怠感、 (1%~10%未満)下痢、口内炎、腹痛、便秘、血尿、蛋白尿、発疹、末梢神経障害、頭痛、AST上昇、Al-P上昇、ビリルビン上昇、 LDH上昇、γ-GTP上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱、 浮腫 (1%未満)口渇、乏尿、痙攣感、耳鳴、聴力低下、視力障害、眩暈、痙攣、異常感覚、味覚異常、神経過敏、不安、不眠、 心電図異常、心悸亢進、血圧上昇、血圧低下、不整脈、抗利尿ホルモン分泌異常症候群、色素沈着、 爪の変色、皮膚疾患、疼痛、潮紅、ほてり、胸部不快感、吃逆、注射部位反応、低蛋白血症							
備考		○4コース終了後、キイトルーダ+EC併用療法へ移行すること							

キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン併用療法 観察記録①

所要時間:3時間半

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	キイトルーダ (mg) 一般名(ペムブロリズマブ) パクリタキセル (mg) 一般名(パクリタキセル) カルボプラチン (mg) 一般名(カルボプラチン)				
☐ 投与決定 ☐ 未決定 ☐ 延期・中止			投与 開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		3時間半かけて点滴【71mL/h】		
	生食100mL+キイトルーダ		30分かけて点滴【200mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		
	生食100mL +パロノセトロン1V +ファモチジン1A +ポラミン1A +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【 250 mL/h】		
	5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル		1時間かけて点滴【270mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		
	5%ブドウ糖250mL +カルボプラチン		60分かけて点滴【 250 mL/h】		
本体終了後抜去					

氏名:

ID()

年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬（		） 入外（			）		
医師	指示医師： パクリタキセル （ mg ） 一般名（パクリタキセル）			抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加				
	□投与決定 □未決定 □延期・中止										
投与指示	本体		側管				投与 開始時間	調剤	実施		
	生食250mL				2時間かけて点滴 【125mL/h】						
			生食100mL +パロノセトロン1V +ファモチジン1A +ポラミン1A +デカドロン 3 A		30分かけて点滴 【 250 mL/h】						
			5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル		1時間かけて点滴 【270mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用						
	本体終了後抜去										